

事業所名

もえぎのクローバー 弘明寺

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		「こどもの芽ぶきを大切に」「4つの心」を大切に想い、願い、たくさんの笑顔があふれる場所を作っていきます。								
支援方針		ご家庭、学校以外で子どもたちが安心し、笑顔になれる場所を第一に、将来社会的自立ができるようにサポートします。 1人ひとりの個性や成長を尊重し、総合的な発達を促せるよう支援計画を作成し、実施します。								
営業時間		(平日)14時 (休日)10時	30分	から	(平日)17時 (休日)16時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	■生活スキルの習得(食事・排泄など) ■健康状態の把握(検温の実施 こどもたちからの小さなサインや異変など細かな観察を行う) ■生活リズムの安定を図る(見通しが持てるようにタイマーの活用、可視化・構造化を行う)								
	運動・感覚	■障がい特性に応じた、活用できる感覚を使った活動の実施 ■からだを動かすことの楽しさを知り、運動能力や感覚の発達を促す(お散歩・水遊び・公園遊び・ダンスなど) ■手先を使う活動の充実(工作・調理など)								
	認知・行動	■認知スキルの向上(人・物の名前を覚える 空間・時間の概念を理解するなど) ■社会的ルールやマナーを学ぶ(挨拶・順番・ルールなど) ■行動障がいへの予防・対応(クールダウン、環境調整など)								
	言語 コミュニケーション	■日常生活に必要な言語の習得・活用(挨拶・ありがとう・ごめんなさいなど) ■自分の気持ちの表出・伝達方法の習得(意思表示・意思決定など) ■非言語的コミュニケーションでのツールの確立(絵カード・写真・サイン・ジェスチャーなど)								
	人間関係 社会性	■社会スキルの習得(挨拶・ルールなど) ■地域資源の活用(近隣の施設や公園への外出、行事の参加など) ■個別・集団活動の充実(他者との繋がりを作り、深めていくなど) ■気持ちの理解・共感・受容(アタッチメント形成など)								
家族支援		・何でも相談しやすい環境作り(支援・進路・家庭状況など) ・こどもの発達上の課題や成長への気づき、促し(面談・連絡帳・送迎時など) ・相談支援事業所を含む他機関など社会資源についての情報共有 ・ご家庭の都合に応じた、柔軟な対応				移行支援		・ライフステージの切替えに合わせた支援機関との情報共有(進学・就労) ・各関係機関との繋がり作り(学校・相談支援事業所・区役所など) ・将来的な移行を見据えた、支援目標・支援内容の設定		
地域支援・地域連携		・地域内での繋がり作り(行事・自立支援協議会への参加など) ・同法人内の他事業所との合同イベント(運動会・卒業式など) ・地域資源の活用(横浜市民防災センター・公園など) ・関係機関との連携(カンファレンスなど) ・ボランティア・教育実習生などの受け入れ				職員の質の向上		・定例会議(管理者会議、児童発達支援管理責任者会議、事業所MTG) ・事業所内研修の実施 ・新採用社員向け研修の実施(理念・業務・虐待防止など) ・本社会同研修の実施(接遇・介護技術など) ・外部研修への積極的な参加・情報共有		
主な行事等		全事業所合同企画：運動会、卒業式 各事業企画：調理レク、外出レク、季節行事、避難訓練など								